

通番	第4次館山市総合計画	同 後期基本計画
1	表紙	表紙
2	市長あいさつ	市長あいさつ
3	目次	目次
4		
5	第1部 序論	第1部 序論
6	1 計画策定の趣旨	第1節 計画の趣旨
7		
8	2 計画の構成と期間	第2節 構成と期間
9	(1) 計画の構成	
10	(2) 計画の期間	
11		第3節 基本構想の概要
12	3 館山市のすがた	第4節 館山市の姿
13	(1) 館山市の地勢	(1) 館山市の地勢
14	(2) 館山市のあゆみ	(2) 館山市の歩み
15	(3) 館山市の産業	(3) 館山市の産業
16	4 時代の潮流	第5節 館山市の特性と課題
17	5 館山市の特性	(1) 館山市の特性
18	6 館山市の課題	(2) 館山市の課題
19	第2部 基本構想	第6節 人口の将来推計と財政運営の現状
20	1 将来都市像	
21	2 将来人口	(1) 人口の現状分析
22	(1) 将来人口の見通し	(2) 推計人口と将来展望人口
23	(2) 人口見通しを踏まえての今後の対応方針	(3) 人口減少問題に対する基本的視点と目指すべき将来の方向性
24		(4) 財政運営の現状
25	3 土地利用の方向性	
26	4 施策の大綱	
27	(1) 重視する4つの視点	
28	(2) 施策の体系	
29	(3) 施策の大綱	
30	5 まちづくりを進める手法	
31	第3部 前期基本計画	第2部 後期基本計画
32		
33	重点プラン	「後期基本計画」重点プラン
34	1 重点プランの位置付けと構成	1. 重点プランの位置付けと構成
35	2 重点プランの趣旨	2. 重点プランの趣旨
36	3 4つの重点プラン	3. 4つの重点プラン
37		7つの基本目標とSDGsの17のゴールへ持続可能なまちを目指して
38		第4次館山市総合計画「後期基本計画」の基本施策とSDGs の関係
39		「後期基本計画」の構成と記載内容
40	【基本目標1】子育て・福祉・医療	【基本目標1】子育て・福祉・医療
41	第1節 子育て環境の充実	第1節 子育て環境の充実
42	第2節 高齢者福祉の充実	第2節 高齢者福祉の充実
43	第3節 障害者福祉の充実	第3節 障害者福祉の充実
44	第4節 低所得者福祉の充実	第4節 低所得者福祉の充実
45	第5節 地域福祉の推進	第5節 地域福祉の推進
46	第6節 保健・医療体制の充実	第6節 保健・医療体制の充実
47	第7節 健康づくりの推進	第7節 健康づくりの推進
48	【基本目標2】教育・文化	【基本目標2】教育・文化
49	第1節 学校教育の充実	第1節 学校教育の充実
50	第2節 青少年の健全育成強化	第2節 青少年の健全育成強化
51	第3節 生涯学習の推進	第3節 生涯学習の推進
52	第4節 歴史の継承と文化の振興	第4節 歴史の継承と文化の振興
53	第5節 スポーツの振興によるまちづくり	第5節 スポーツの振興によるまちづくり
54	第6節 国際交流・地域間交流の促進	第6節 国際交流・地域間交流の促進
55	【基本目標3】産業・経済	【基本目標3】産業・経済
56	第1節 観光の振興	第1節 観光の振興
57	第2節 農水産業の振興	第2節 農水産業の振興
58	第3節 商工業の振興	第3節 商工業の振興
59	第4節 新たな雇用の創出と就業支援の強化	第4節 新たな雇用の創出と就業支援の強化
60	第5節 移住・定住の促進	第5節 移住・定住の促進
61	第6節 交流拠点施設を核とした地域活性化	第6節 交流拠点施設を核とした地域活性化
62	【基本目標4】基盤整備	【基本目標4】基盤整備
63	第1節 住環境の充実と市街地の利便性向上	第1節 住環境の充実と市街地の利便性向上
64	第2節 公園の機能充実と緑化の推進	第2節 公園の機能充実と緑化の推進
65	第3節 道路環境の充実と河川整備の促進	第3節 道路環境の充実と河川整備の促進
66	第4節 交通体系の充実	第4節 交通体系の充実
67	【基本目標5】環境共生	【基本目標5】環境共生
68	第1節 自然環境の保全と景観形成の促進	第1節 自然環境の保全と景観形成の促進
69	第2節 環境・衛生対策の充実	第2節 環境・衛生対策の充実
70	第3節 資源循環型社会の構築	第3節 資源循環型社会の構築
71	【基本目標6】防災・安全	【基本目標6】防災・安全
72	第1節 防災体制の強化	第1節 防災体制の強化
73	第2節 消防・救急の充実	第2節 消防・救急の充実
74	第3節 交通安全・防犯体制の強化	第3節 交通安全・防犯体制の強化
75	第4節 消費者保護対策の推進	第4節 消費者保護対策の推進
76	【基本目標7】市民参画・行政運営	【基本目標7】市民参画・行政運営
77	第1節 市民参画の促進	第1節 市民参画の促進
78	第2節 地域コミュニティ活動の推進	第2節 地域コミュニティ活動の推進
79	第3節 男女共同参画の推進	第3節 男女共同参画の推進
80	第4節 情報発信力の強化	第4節 情報発信力の強化
81	第5節 戦略的な行政運営	第5節 戦略的な行政運営
82	第6節 広域行政の推進	第6節 広域行政の推進
83		第4次館山市総合計画「後期基本計画」計画事業リスト
84	資料編	資料編
85	●前期基本計画の体系	
86	●第4次館山市総合計画策定方針	●第4次館山市総合計画「後期基本計画」策定方針
87		●「第2期館山市まち・ひと・しごと創生総合戦略」の概要
88		●館山市について
89	●館山市附属機関設置条例(抜粋)	●館山市附属機関設置条例(抜粋)
90	●館山市総合計画審議会委員名簿	●館山市総合計画審議会委員名簿
91	●第4次館山市総合計画の策定について(諮問)	●「後期基本計画」の策定について(諮問)
92	●第4次館山市総合計画について(答申)	●「後期基本計画」について(答申)
93	●策定経過概要	●策定経過概要
94	●基礎調査結果概要	
95	●市民意識調査等の結果概要	●市民意識調査(市民まちづくりアンケート)の結果概要
96	1. 市民意識調査	
97	2. 高校生アンケート調査	
98	3. WEBアンケート調査	
99	●第3期基本計画にかかる政策評価の概要	●「前期基本計画」に係る政策評価の概要
100	●館山市について	※記載場所の変更
101	●用語解説	●用語解説

◎次期計画の考え方  
現行計画の項目内容を統合したシンプルに構成し、市民に真に伝えたい内容(情報量の適正化)とする。

通番	次期計画	説明、イメージ等
1	表紙	
2	市長メッセージ	インタビュー記事風の見開きページで市民に向けて発信
3	特集ページ	主に写真。Instagramキャンペーン、懇談会の様子など
4	目次	
5	第1部 序論	
6	第1章 計画の趣旨	
7	第2章 計画の役割	市政の最上位計画、総合戦略と一体化
8	第3章 構成と期間	
9		
10		
11	第4章 推進体制	
12	第5章 館山市の姿	見開きページ(2ページ)で簡潔に掲載
13	第6章 館山市を取り巻く社会動向と課題	見開きページ(2ページ)で簡潔に掲載
14		
15		
16		
17		
18		
19	第2部 基本構想	
20	第1章 将来像	標語と将来人口掲載
21		
22		
23		
24		
25	第2章 将来都市構造	都市計画マスタープラン・立地適正化計画の構造図掲載予定
26	第3章 基本目標	基本的視点、目標全体図、各目標の方針文章
27		
28		
29		
30		
31	第3部 前期基本計画	
32	第1章 施策体系	
33	第2章 リーディングプロジェクト	
34	プロジェクト1 ***	
35	プロジェクト2 ***	
36	プロジェクトX ***	
37		
38	第3章 計画とSDGsとの連動	
39	第4章 目標別施策	(「前期基本計画」の構成と記載内容)
40	【基本目標1】***	※目標は7つから4~5に統合予定
41	第1節 ***	
42	第2節 ***	
43	【基本目標X】***	
44	第1節 ***	
45	第2節 ***	
46		
47		
48		
49		
50		
51		
52		
53		
54		
55		
56		
57		
58		
59		
60		
61		
62		
63		
64		
65		
66		
67		
68		
69		
70		
71		
72		
73		
74		
75		
76		
77		
78		
79		
80		
81		
82		
83		
84	資料編	
85	●第5次館山市総合計画策定方針	
86	●館山市附属機関設置条例(抜粋)	
87	●館山市総合計画審議会委員名簿	
88	●第5次館山市総合計画の策定について(諮問)	
89	●第5次館山市総合計画について(答申)	
90	●策定経過概要	
91	●市民意識調査の結果概要	※本編に掲載の場合は削除
92	●地区別懇談会の概要	※本編に掲載の場合は削除
93	●第4期後期基本計画にかかる政策評価の概要	※本編に掲載の場合は削除
94	●用語解説	
95		
96		
97		
98		
99		
100		
101		

**巻頭**

- ◆市長メッセージ
- ◆特集ページ（未定。instagram キャンペーン、懇談会の様子等）

**第1部 序論**

<p><b>第1章 計画の趣旨</b></p> <p>人口減少、高齢化、社会全体のデジタル化、グローバル化（地球規模化）等の社会情勢の変化を“市が発展するチャンス”と捉える発想の下、市民、地域、関係団体、企業、行政が共有する、まちづくりの基本指針</p>
<p><b>第2章 計画の役割</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 市政運営の最上位計画、個別分野の指針</li> <li>● 総合戦略と一体化</li> </ul>
<p><b>第3章 計画の構成・期間</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 基本構想 10年間（令和8～17年度）</li> <li>● 基本計画 前期5年間（令和8～12年度） 後期5年間（令和13～17年度）</li> <li>● 実施計画 1期3年間、毎年度更新（ローリング）※別途作成</li> </ul>
<p><b>第4章 推進体制</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 計画の推進体制（協働のまちづくり、庁内・広域連携）</li> <li>● 計画の進行管理（PDCA（ooda）サイクル）</li> <li>● 計画の見直し（計画最終年度を目途に次期計画策定。基本計画及び実施計画は計画期間中の変更・改定の場合あり）</li> </ul>
<p><b>第5章 館山市の姿</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 地勢、市のあゆみ</li> <li>● 主要統計データ（人口、産業、財政）</li> </ul>
<p><b>第6章 館山市を取り巻く社会情勢と課題</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 社会情勢（人口構造、社会・経済・環境・くらし、行政経営変化）</li> <li>● 課題 人口規模の縮小、少子化に歯止めがかからない</li> <li>● 課題 地域産業の低迷、担い手や事業所数の減少</li> <li>● 課題 全国で災害の激甚化</li> <li>● 課題 余裕のない行財政運営</li> </ul>

**第2部 基本構想**

<p><b>第1章 将来像</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● まちの将来像</li> <li>● 将来人口（令和17年度人口、超長期的な目標人口）</li> </ul>	<p><b>第2章 将来都市構造</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 土地利用方針</li> <li>● 将来都市構造（将来人口を想定したグランドデザイン）</li> </ul>												
<p><b>第3章 基本目標</b></p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>目標</th> <th>方向性の概要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td> <p><b>目標1 産業・経済</b></p> </td> <td> <p>◀重点▶ 近年の経済情勢（サプライチェーンの再構築、農産物・水産物の安定供給への懸念、首都圏の若者の地方への高まる関心等）を踏まえ、事業主（個人含む）の様々な「挑戦」への積極的な応援（投資）、DX&lt;デジタル・トランスフォーメーション&gt;の促進等により、全ての産業の事業成長化に向けた稼ぐ力（収益力、生産性）の強化を重点的な取組に位置づける。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 観光の振興に向けた有形無形の地域資源の連携・発掘・磨き上げ、観光者の安全対策</li> <li>● 地域経済を支える商工業と地域特有の農水産業との連携並びに、食のまちづくりの推進、稼ぐ力（収益力、生産性）の強化、担い手育成（事業承継）、食のブランド化の推進</li> <li>● 企業（サテライトオフィスを含む）誘致活動の推進、起業・創業の促進</li> <li>● 魅力ある雇用機会の創出、多様で柔軟な働き方や暮らし方の推進</li> <li>● 地域内経済循環を円滑にする取組</li> <li>● 広域連携による移住・二地域居住の促進、生活利便性やウェルビーイングの向上による定住促進</li> </ul> </td> </tr> <tr> <td> <p><b>目標2 子育て・健康・予防・福祉・医療</b></p> </td> <td> <p>◀重点▶ 若い世代の希望を叶える（幸福度を高める）子どもを産み育てやすくする総合的な支援パッケージ化による支援の充実、市と社会福祉協議会、社会福祉法人等が連携・協働して行う重層的支援体制と地域共生社会の再構築&lt;ソーシャルキャピタル&gt;、先端技術の活用による「人にやさしい」サービスの最適化・効率化を重点的な取組に位置づける。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 「こどもまんなか」社会の推進</li> <li>● 人生100年時代を支える健康づくりと合わせて、認知症予防、疾病予防、介護予防、虐待予防、自殺予防等、様々な「予防」に先端技術の活用と官民の協力で取り組む</li> <li>● 多様化・複合化する福祉課題に対応できる地域包括ケアシステムの深化（避難行動要支援者対策を含む）</li> <li>● 地域医療体制の充実</li> </ul> </td> </tr> <tr> <td> <p><b>目標3 教育・文化</b></p> </td> <td> <p>◀重点▶ 持続可能なまちづくりの根幹となる「人づくり」政策として、先端技術と地域資源を活用した質の高い教育の実践、人生100年時代にふさわしい生涯学習の展開（地域の発展につなげる視点の重視）、自然環境を活かした、各種スポーツイベントの開催により、スポーツ文化の醸成と交流人口、関係人口の拡大による地域活性化に繋がる取組を重点的な取組に位置づける。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 「確かな学力・豊かな心・健やかな体」を基盤とした「生きる力」を育む学校教育の展開</li> <li>● 有形無形の文化財の発掘・保存、「文化財保存活用地域計画」に基づく活用</li> </ul> </td> </tr> <tr> <td> <p><b>目標4 都市整備・環境・防災・安全</b></p> </td> <td> <p>◀重点▶ 人口減少への対応、市民の生命・暮らしを守ること、持続可能なまちづくりの基盤として、防災、ゼロカーボンシティ&lt;脱炭素都市&gt;、DX&lt;デジタル・トランスフォーメーション&gt;を一体的に進める都市整備グランドデザインの策定、地域公共交通網の充実、ビジネスの視点も踏まえたGX&lt;グリーン・トランスフォーメーション&gt;の推進、地域防災力の向上を重点的な取組に位置づける。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● ポストコロナ社会における地方への関心の高まりを生かし、清涼で豊かな自然の中で快適・安心に暮らせる住環境の形成</li> <li>● 空き地・空き家の対策と地域活性化への活用</li> <li>● 官民を挙げた防災対策の推進、資源循環型社会の構築</li> </ul> </td> </tr> <tr> <td> <p><b>目標5 市民参画・シティプロモーション・行財政運営</b></p> </td> <td> <p>◀重点▶ 誰もが参加する地域づくりに向けた「協働」「多様性社会」の推進、館山ファン（関係人口）の増加に向けたシティプロモーション（地域ブランディング、情報発信、地域資源の発掘・創出、国内外交流等）の強化、自治体DX&lt;デジタル・トランスフォーメーション&gt;を核に業務・組織を最適化し続ける行財政運営を重点的な取組に位置づける。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 市民が地域を元気にするまちを目指し、男女共同参画の推進、コミュニティ活動の充実と担い手確保</li> <li>● 草の根レベル、都市レベルの交流活性化</li> <li>● 市民の声の反映、柔軟な組織運営、業務・サービスの円滑化・効率化による行財政運営</li> <li>● 多様な財源の確保、計画的な投資の実行</li> </ul> </td> </tr> </tbody> </table>		目標	方向性の概要	<p><b>目標1 産業・経済</b></p>	<p>◀重点▶ 近年の経済情勢（サプライチェーンの再構築、農産物・水産物の安定供給への懸念、首都圏の若者の地方への高まる関心等）を踏まえ、事業主（個人含む）の様々な「挑戦」への積極的な応援（投資）、DX&lt;デジタル・トランスフォーメーション&gt;の促進等により、全ての産業の事業成長化に向けた稼ぐ力（収益力、生産性）の強化を重点的な取組に位置づける。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 観光の振興に向けた有形無形の地域資源の連携・発掘・磨き上げ、観光者の安全対策</li> <li>● 地域経済を支える商工業と地域特有の農水産業との連携並びに、食のまちづくりの推進、稼ぐ力（収益力、生産性）の強化、担い手育成（事業承継）、食のブランド化の推進</li> <li>● 企業（サテライトオフィスを含む）誘致活動の推進、起業・創業の促進</li> <li>● 魅力ある雇用機会の創出、多様で柔軟な働き方や暮らし方の推進</li> <li>● 地域内経済循環を円滑にする取組</li> <li>● 広域連携による移住・二地域居住の促進、生活利便性やウェルビーイングの向上による定住促進</li> </ul>	<p><b>目標2 子育て・健康・予防・福祉・医療</b></p>	<p>◀重点▶ 若い世代の希望を叶える（幸福度を高める）子どもを産み育てやすくする総合的な支援パッケージ化による支援の充実、市と社会福祉協議会、社会福祉法人等が連携・協働して行う重層的支援体制と地域共生社会の再構築&lt;ソーシャルキャピタル&gt;、先端技術の活用による「人にやさしい」サービスの最適化・効率化を重点的な取組に位置づける。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 「こどもまんなか」社会の推進</li> <li>● 人生100年時代を支える健康づくりと合わせて、認知症予防、疾病予防、介護予防、虐待予防、自殺予防等、様々な「予防」に先端技術の活用と官民の協力で取り組む</li> <li>● 多様化・複合化する福祉課題に対応できる地域包括ケアシステムの深化（避難行動要支援者対策を含む）</li> <li>● 地域医療体制の充実</li> </ul>	<p><b>目標3 教育・文化</b></p>	<p>◀重点▶ 持続可能なまちづくりの根幹となる「人づくり」政策として、先端技術と地域資源を活用した質の高い教育の実践、人生100年時代にふさわしい生涯学習の展開（地域の発展につなげる視点の重視）、自然環境を活かした、各種スポーツイベントの開催により、スポーツ文化の醸成と交流人口、関係人口の拡大による地域活性化に繋がる取組を重点的な取組に位置づける。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 「確かな学力・豊かな心・健やかな体」を基盤とした「生きる力」を育む学校教育の展開</li> <li>● 有形無形の文化財の発掘・保存、「文化財保存活用地域計画」に基づく活用</li> </ul>	<p><b>目標4 都市整備・環境・防災・安全</b></p>	<p>◀重点▶ 人口減少への対応、市民の生命・暮らしを守ること、持続可能なまちづくりの基盤として、防災、ゼロカーボンシティ&lt;脱炭素都市&gt;、DX&lt;デジタル・トランスフォーメーション&gt;を一体的に進める都市整備グランドデザインの策定、地域公共交通網の充実、ビジネスの視点も踏まえたGX&lt;グリーン・トランスフォーメーション&gt;の推進、地域防災力の向上を重点的な取組に位置づける。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● ポストコロナ社会における地方への関心の高まりを生かし、清涼で豊かな自然の中で快適・安心に暮らせる住環境の形成</li> <li>● 空き地・空き家の対策と地域活性化への活用</li> <li>● 官民を挙げた防災対策の推進、資源循環型社会の構築</li> </ul>	<p><b>目標5 市民参画・シティプロモーション・行財政運営</b></p>	<p>◀重点▶ 誰もが参加する地域づくりに向けた「協働」「多様性社会」の推進、館山ファン（関係人口）の増加に向けたシティプロモーション（地域ブランディング、情報発信、地域資源の発掘・創出、国内外交流等）の強化、自治体DX&lt;デジタル・トランスフォーメーション&gt;を核に業務・組織を最適化し続ける行財政運営を重点的な取組に位置づける。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 市民が地域を元気にするまちを目指し、男女共同参画の推進、コミュニティ活動の充実と担い手確保</li> <li>● 草の根レベル、都市レベルの交流活性化</li> <li>● 市民の声の反映、柔軟な組織運営、業務・サービスの円滑化・効率化による行財政運営</li> <li>● 多様な財源の確保、計画的な投資の実行</li> </ul>
目標	方向性の概要												
<p><b>目標1 産業・経済</b></p>	<p>◀重点▶ 近年の経済情勢（サプライチェーンの再構築、農産物・水産物の安定供給への懸念、首都圏の若者の地方への高まる関心等）を踏まえ、事業主（個人含む）の様々な「挑戦」への積極的な応援（投資）、DX&lt;デジタル・トランスフォーメーション&gt;の促進等により、全ての産業の事業成長化に向けた稼ぐ力（収益力、生産性）の強化を重点的な取組に位置づける。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 観光の振興に向けた有形無形の地域資源の連携・発掘・磨き上げ、観光者の安全対策</li> <li>● 地域経済を支える商工業と地域特有の農水産業との連携並びに、食のまちづくりの推進、稼ぐ力（収益力、生産性）の強化、担い手育成（事業承継）、食のブランド化の推進</li> <li>● 企業（サテライトオフィスを含む）誘致活動の推進、起業・創業の促進</li> <li>● 魅力ある雇用機会の創出、多様で柔軟な働き方や暮らし方の推進</li> <li>● 地域内経済循環を円滑にする取組</li> <li>● 広域連携による移住・二地域居住の促進、生活利便性やウェルビーイングの向上による定住促進</li> </ul>												
<p><b>目標2 子育て・健康・予防・福祉・医療</b></p>	<p>◀重点▶ 若い世代の希望を叶える（幸福度を高める）子どもを産み育てやすくする総合的な支援パッケージ化による支援の充実、市と社会福祉協議会、社会福祉法人等が連携・協働して行う重層的支援体制と地域共生社会の再構築&lt;ソーシャルキャピタル&gt;、先端技術の活用による「人にやさしい」サービスの最適化・効率化を重点的な取組に位置づける。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 「こどもまんなか」社会の推進</li> <li>● 人生100年時代を支える健康づくりと合わせて、認知症予防、疾病予防、介護予防、虐待予防、自殺予防等、様々な「予防」に先端技術の活用と官民の協力で取り組む</li> <li>● 多様化・複合化する福祉課題に対応できる地域包括ケアシステムの深化（避難行動要支援者対策を含む）</li> <li>● 地域医療体制の充実</li> </ul>												
<p><b>目標3 教育・文化</b></p>	<p>◀重点▶ 持続可能なまちづくりの根幹となる「人づくり」政策として、先端技術と地域資源を活用した質の高い教育の実践、人生100年時代にふさわしい生涯学習の展開（地域の発展につなげる視点の重視）、自然環境を活かした、各種スポーツイベントの開催により、スポーツ文化の醸成と交流人口、関係人口の拡大による地域活性化に繋がる取組を重点的な取組に位置づける。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 「確かな学力・豊かな心・健やかな体」を基盤とした「生きる力」を育む学校教育の展開</li> <li>● 有形無形の文化財の発掘・保存、「文化財保存活用地域計画」に基づく活用</li> </ul>												
<p><b>目標4 都市整備・環境・防災・安全</b></p>	<p>◀重点▶ 人口減少への対応、市民の生命・暮らしを守ること、持続可能なまちづくりの基盤として、防災、ゼロカーボンシティ&lt;脱炭素都市&gt;、DX&lt;デジタル・トランスフォーメーション&gt;を一体的に進める都市整備グランドデザインの策定、地域公共交通網の充実、ビジネスの視点も踏まえたGX&lt;グリーン・トランスフォーメーション&gt;の推進、地域防災力の向上を重点的な取組に位置づける。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● ポストコロナ社会における地方への関心の高まりを生かし、清涼で豊かな自然の中で快適・安心に暮らせる住環境の形成</li> <li>● 空き地・空き家の対策と地域活性化への活用</li> <li>● 官民を挙げた防災対策の推進、資源循環型社会の構築</li> </ul>												
<p><b>目標5 市民参画・シティプロモーション・行財政運営</b></p>	<p>◀重点▶ 誰もが参加する地域づくりに向けた「協働」「多様性社会」の推進、館山ファン（関係人口）の増加に向けたシティプロモーション（地域ブランディング、情報発信、地域資源の発掘・創出、国内外交流等）の強化、自治体DX&lt;デジタル・トランスフォーメーション&gt;を核に業務・組織を最適化し続ける行財政運営を重点的な取組に位置づける。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 市民が地域を元気にするまちを目指し、男女共同参画の推進、コミュニティ活動の充実と担い手確保</li> <li>● 草の根レベル、都市レベルの交流活性化</li> <li>● 市民の声の反映、柔軟な組織運営、業務・サービスの円滑化・効率化による行財政運営</li> <li>● 多様な財源の確保、計画的な投資の実行</li> </ul>												

**第3部 基本計画 (施策体系の新旧比較)**

後期計画	節	施策名
【基本目標1】子育て・福祉・医療	第1節	子育て環境の充実
	第2節	高齢者福祉の充実
	第3節	障害者福祉の充実
	第4節	低所得者福祉の充実
	第5節	地域福祉の推進
	第6節	保健・医療体制の充実
	第7節	健康づくりの推進
【基本目標2】教育・文化	第1節	学校教育の充実
	第2節	青少年の健全育成強化
	第3節	生涯学習の推進
	第4節	歴史の継承と文化の振興
	第5節	スポーツの振興によるまちづくり
	第6節	国際交流・地域間交流の促進
【基本目標3】産業・経済	第1節	観光の振興
	第2節	農水産業の振興
	第3節	商工業の振興
	第4節	新たな雇用の創出と就業支援の強化
	第5節	移住・定住の促進
	第6節	交流拠点施設を核とした地域活性化
【基本目標4】基盤整備	第1節	住環境の充実と市街地の利便性向上
	第2節	公園の機能充実と緑化の推進
	第3節	道路環境の充実と河川整備の促進
	第4節	交通体系の充実
【基本目標5】環境共生	第1節	自然環境の保全と景観形成の促進
	第2節	環境・衛生対策の充実
	第3節	資源循環型社会の構築
【基本目標6】防災・安全	第1節	防災体制の強化
	第2節	消防・救急の充実
	第3節	交通安全・防犯体制の強化
	第4節	消費者保護対策の推進
【基本目標7】市民参画・行政運営	第1節	市民参画の促進
	第2節	地域コミュニティ活動の推進
	第3節	男女共同参画の推進
	第4節	情報発信力の強化
	第5節	戦略的な行財政運営
	第6節	広域行政の推進

次期計画	(旧) 節	新節	施策名 (今後、変更あり)
基本目標1 産業・経済 ※交流拠点施設を核とした地域活性化は1~3節を含む	第1節	第1節	観光の振興
	第2節	第2節	農水産業の振興
	第3節	第3節	商工業の振興
	第4節	第4節	新たな雇用の創出と就業支援の強化
	第5節	第5節	移住・定住の促進
基本目標2 子育て・健康・予防・福祉・医療 ※健康づくり、保健・医療体制を統合	第4.5節	第1節	地域福祉の推進 ※地域福祉、低所得者福祉を統合。福祉分野の上位概念を第1節とする
	第1節	第2節	子育て環境の充実
	第2節	第3節	高齢者福祉の充実
	第3節	第4節	障害者福祉の充実
	第6.7節	第5節	健康づくり・医療体制の充実
基本目標3 教育・文化 ※国際・地域間交流は基本目標5第1節に統合	第1節	第1節	学校教育の充実
	第2節	第2節	青少年の健全育成強化
	第3節	第3節	生涯学習の推進
	第4節	第4節	歴史の継承と文化の振興
	第5節	第5節	スポーツの振興
基本目標4 都市整備・環境・防災・安全 ※自然環境保全、環境・衛生対策を統合 ※防災体制、消防・救急を統合 ※交通安全、防犯、消費者行政を統合	第1-4節	第1節	都市整備の推進 ※市街地、道路・河川、交通体系、住環境、景観、公園・緑化を統合
	第1.2節	第2節	脱炭素による持続可能な社会の実現
	第3節	第3節	資源循環型社会の構築
	第1.2節	第4節	防災・消防・救急体制の強化
	第3.4節	第5節	生活安全対策の充実
基本目標5 市民参画・シティプロモーション・行財政運営 ※市民・男女共同参画、地域コミュニティ、国際・地域間交流、情報発信を統合	第1-4節他	第1節	市民活動とシティプロモーションの推進
	第5節	第2節	持続可能な行財政運営
	第6節	第3節	広域行政の推進